



北海道の名付け親
松浦武四郎さんも大好き☆



【勾玉って、なーに？ ～人びとの心をとらえる不思議なアクセサリー～】

夏休み期間中は、市内のあちこちへ子どもたちを対象とした体験講座に出かける機会がありました。体験講座の人気メニューは「勾玉づくり」です。滑石という普通よりやわらかく加工しやすい材料を、紙やすりを使って削ったり、みがいたりしてつくっていきます。勾玉作り講座で、参加者のみなさんからいくつか質問があったので、今回は「はにわ通信」で、それにお答えしてみたいと思います。

① 何の形をあらわしたの？

大昔のお墓である古墳には、刀や光り輝く馬具など美しい品々が納められています。その代表格として、色とりどりの玉類があげられます。中でも勾玉は有名で、とても魅力的な形をしています。その不思議な形は、「三日月」「動物の牙」などが元になっているといわれます。少し変わったところでは、「生まれてくる前の赤ちゃん」といった説まであります。

② 勾玉の歴史

勾玉の歴史は古く、縄文時代には土製のものや動物の牙に穴をあけて首飾りにした「牙玉」と呼ばれるものがあります。最も流行したのは、弥生時代後期（約1800年前）から古墳時代終わり（約1300年前）の期間です。この時期の勾玉には、赤いメノウ・緑色のヘキギョクやヒスイ、珍しい例では水晶を材料にしたものもあります。また、弥生時代には青いガラス製の勾玉もあります。古墳時代が終わると次第に姿を消していきますが、そのデザインは現在まで引き継がれています。

③ どんなふうに使っていたの？

古墳で見つかった「人物はにわ」にはひもを通した首飾り、「巫女形はにわ」では首飾りのほかに耳飾り・腕輪（ブレスレット）などの表現がみられるので、アクセサリーとして使われていたと考えられます。

④ 勾玉が見つかる遺跡

三重県内で勾玉が見つかるのは、昔の人びとのマツリにかかわる遺跡・古墳などのお墓からほとんどで、一般的な集落からみつかることはあまりありません。ですから、ふだんの日に使うアクセサリーというよりは、特別な場面で使用されたものなのでしょう。

勾玉の不思議な形は、現代に生きる私たちにも、とても魅力的な存在です。郷土松阪の偉人松浦武四郎さんも、実は「超」がつくほどの勾玉マニアで、たくさんの勾玉をコレクションしていました。武四郎の写真をよく見ると、たくさんの勾玉を首からぶらさげているのがわかります。

(担当)



たくさんの勾玉を首飾りにして
写真に写る松浦武四郎

【 笑顔のつながり 】

しゅうふう いん
秋風の引

りゅう うしゃく
劉 禹錫

いず ところ しゅうふう いた
何れの処よりか 秋風 至り
しょうしょう がんぐん おく
蕭蕭として 雁群を 送る
ちようらい ていじゆ い
朝来 庭樹に入り
こかく もっと さき
孤客 最も 先に 聞く

(どこからか秋の風がふいてきた。

ものさびしい音をひびかせて、雁のむれを送っている。

今朝がた庭の木々にふき入ったのを、

ひとりぼっちの旅人の私が、いちばん先に聞きつけた。)



こどもたちの夏休みもおわり、ことしの夏もまたすぎようとしています。昼のあいだは残暑がきびしいものの、朝夕の風には秋をかんじられるころになりました。

夏休みのあいだ文化財センターは、はにわ館の企画展「そうだったのか櫛田川」、中学生ボランティアガイド、ギャラリーの地元作家絵画優品展、流木アート展、こども流木アートワークショップ、古代生活体験講座の勾玉・土偶・石包丁づくりなど、たくさんの方々ににぎわいました。

学芸員かおまけの展示説明をこともなげにやりおえた中学生のみなさん、いろいろなものづくり体験で、低学年のはじめは手伝ってもらっても最後はひとりで取り組む姿や高学年のてなれた手つき、そしてできあがった「作品」を手にした参加者のみなさん、それは充実の夏をすごすことができたすてきな笑顔のつながりとなって、ことしの夏のしめくりにふさわしいものでした。

劉禹錫 中唐（766～835）の詩人

(所長)

文化財センター はにわ館 & ギャラリー 9月の催し物予定

月曜日、祝日の翌日は休館です。開館時間は9時～17時です（入館は16時30分まで）。

【はにわ館】 入館料100円（18歳以下無料。）

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■企画展「そうだったのか！櫛田川～遺跡で学ぶ人びとの暮らし～」7/16（土）～9/4（日）

【ギャラリー】 入場無料

第2・3ギャラリー ■第68回松阪美術協会展 8/28（日）～9/4（日）*4日は16:00まで

第1・2・3ギャラリー ■平成23年度松阪市児童生徒科学作品展 9/10（土）～9/11（日）*16:00まで

第1ギャラリー ■奥伊勢フォトクラブ『華火写真展』9/16（金）～9/25（日）*16日は正午から、25日は16:00まで

第2・3ギャラリー ■全日本写真連盟『第71回国際写真サロン展』9/19（月）～9/24（土）

*毎日10:00から、24日は16:00まで

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】http://www.city.matsusaka.mie.jp/



バーコード読み取り
(文化財センター情報)